

平成 27年度 ミュージアムマネジメント研修会開催要項

1. 目 的

平成 27 年 4 月 18 日（土）にリニューアルオープンした北海道博物館は、オープン 2 週目に早や入館者が 1 万人を超え、6 月には 5 万人を超えるほど、運営は順調に推移している。

旧北海道開拓記念館時代と大きく変わったのは万人受けする展示で、老若男女が一緒に、気軽に見学できる環境づくりに取り組んでいる。

北海道の博物館の核としての存在を自負し、調査研究活動も怠らない。これまで蓄積されてきた北海道の様々な情報を、北海道民、国内外の人々に発信し、さらに新たな情報の収集にも注力する。

北海道博物館は北海道民が北海道で暮らしていくうえでなくてはならない存在となる博物館を目指し、こうした取り組みが全道、国内の博物館の活動にも反映され、博物館の機能が地域社会を構成していくうえで重要な役割を果たすことを積極的にアピールしていく。

新生「北海道博物館」の実践的な取り組み、今後の展望を道内博物館の職員、地方自治体職員に具体的、建設的に紹介し、地域における博物館の存在意義を共に高めていくことを趣旨として本研修会を開催する。

2. テーマ

北海道博物館と地域の関わり

～リニューアルした北海道博物館は高齢社会の中で何ができるか～

3. 実施体制

主 催：北海道博物館協会

共 催：日本ミュージアム・マネジメント学会北海道支部

後 援：北海道教育委員会

4. 日 時

平成 27 年 7 月 11 日（土） 13：30～16：30

5. 会 場

北海道博物館講堂

6. 進行・報告者

司会進行は北海道博物館学芸部長、報告はテーマ展示のチーフが務める。

司会進行：学芸部長 舟山直治

報 告：研究部長 小川正人

学芸主幹 右代啓視

学芸主幹 堀 繁久
学芸主幹 池田貴夫
学芸主幹 水島未記

7. 備 考

本研修会は、第54回北海道博物館大会と同時開催し、テーマを共有している。

【参考】

第54回北海道博物館大会

1. 会期

平成27年7月10日（金）～7月11日（土）

2. 会場

1日目：野外博物館北海道開拓の村ビジターセンター講堂

2日目：北海道博物館 記念ホール、講堂

3. テーマ

高齢社会の中でミュージアムにできること

一博物館・美術館・科学館・動物園等は、それぞれの地域に根ざした魅力ある施設として、さまざまな年齢や世代に対して、親しみやすく開かれた施設として充実させていくことが求められる。少子高齢化が進む北海道においても、学校教育施設だけでなく高齢者福祉施設等に向けて館園を利用する取り組みがみられる。そこで、本大会では各地域で実践している「おとしより」の方々が館園をより効果的に、楽しく利用している取り組みを紹介しながら、これからの地域と館園をつなぐ試みについて議論する。

4. 基調講演

『博福連携』の試みー高齢社会に向けてミュージアムにできること

講師：市橋芳則氏（北名古屋市歴史民俗資料館館長）

5. 事例報告

①知内町郷土資料館のこころみー健脳講座と回想法ー

知内町郷土資料館学芸員 高橋豊彦氏

②動物園と高齢者ー動物介在活動としての可能性ー

おびひろ動物園主任 杉本加奈子氏

③地域博物館を核とした高齢者と協働する地域学習活動の効果と課題ー士別市朝日町の事例ー

北海道博物館学芸員 青柳かつら氏

④配慮を必要とする博物館見学者への準備と対応ー高齢者・障がい者を中心にー

北海道医療大学准教授 長谷川聡氏

6. コーディネーター

湯浅万紀子氏（北海道大学総合博物館准教授）

※以上、基調講演、事例報告は1日目に実施し、2日目は北海道博物館見学会、道内博物館のPR・ワークショップ、ミュージアム・マネジメント研修会等を開催する。